

昨年(2016年)の11月下旬は寒波がやってきて、東京都心では平年より40日も早い11月24日に初雪を観測。ニュースでは「東京都心で54年ぶりに早い初雪」と話題になりました。このまま寒い冬になるのかと思った方も多かったでしょうが、昨年の冬は結局暖冬でした。「暖冬」とは、ひと冬を通じて平均した気温が高いことを言い、毎日安定して平年より気温が高いわけではありません。グラフは昨年の東京の日平均気温と平年の値を比較したものです。平年を上回った日が多いですが、大きく下回った日も見られます。中でも平年を一番下回った1月15日は、北極から流れてきた寒気が日本にやって来て、この日の平均気温は0.7度、最

低気温は-2.3度まで冷え込みました。また、一昨年の冬も暖冬でしたが、沖縄では雪が降りました。このように、暖冬の年でも度々寒波はやってきます。気象庁の寒候期予報によると、今年の冬は平年並みの所が多く、北日本では平年並みか高い予想です。平均して厳しい寒さが予想されて



いなくても、度々寒波がやってくることはよくありますので、日々の気象情報をしっかりと確認下さい。

日本気象協会 平出 真有
https://tenki.jp/

特別顧問	丹羽 晟 (元理事長、日本空港ビルディング顧問) 丸山 博 (元国土交通審議官) 本保 芳明 (初代観光庁長官)
理事長	大島 慎子 (筑波学院大学学長)
副理事長	岡村 進 (元小田急トラベル社長) 横山 善太 (元日本航空副社長) 須田 寛 (東海旅客鉄道相談役)
事務局長	杉 行夫 (理事) 事務局次長 堤 るり (理事)
支 部 長	須田 寛 (中部) 魚住 隆彰 (北陸) 長尾 亜夫 (九州) 岩田 弘三 (神戸) 梅原 利之 (四国)

団 体 会 員	アイエスカンパニー 医療法人社団同友会 一般財団法人NHK インターナショナル 株式会社えんれいしゃ 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのリサーチセンター 株式会社グリーンキャブ 株式会社耕人舎 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社 住友電設株式会社 セントラルリーシングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社 株式会社丹青社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタンツ 中国電力株式会社 中部(東海・北陸・信州)広域観光推進協議会 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東京急行電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部 日本空港ビルディング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社パロックジャパンリミテッド 広島電鉄株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン マイナミホールディングス株式会社 株式会社まるまんフィオーレ 三菱電機株式会社
---------	---

特定非営利活動法人《NPO》

JAPAN NOW
観光情報協会

東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル5S5 〒160-0023
電話 03(5989)0902
FAX 03(5989)0903
E-mail info@japannow.org
HP www.japannow.org/

発行人：大島 慎子 (JN協会理事長)
編集長：北村 嵩 (JN協会理事)
発行部数：3,000部
主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

観光庁が、本年7～9月期の訪日外国人消費動向調査で、初めて訪日客の民泊に関する調査を行った。民泊は観光客の14.9%が利用し、そのうち6割超が20歳以下の利用者だそう。交通手段は4割弱がLCC(格安航空会社)を利用し、非利用者も多い。国別の民泊利用率はシンガポールが39.5%で最も高く、フランス、インドネシア、オーストラリア、カナダが27～35%台で続く。訪日客数が多い韓国、中国は14～15%であった▼6月上旬に民泊新法(住宅宿泊事業法)が成立し来春には施行予定で、京王電鉄や阪急不動産などが民泊専用マンションを開業するなど民泊事業への参入の動きが加速している。一方、世界最大手の民泊物件仲介サイト運営会社Airbnb(エアビーアンドビー)が先導してきた仲介サイトへも、楽天が民泊仲介サイトの新設を発表し、オランダのブッキング・ドットコム、中国の途家、台湾のAsiaYo.comなども日本の物件数を増やしている。このような状況下でAirbnbに対し、物件の貸主側に対し、他の民泊仲介サイトと契約しないよう求めた疑いがあるとして、公正取引委員会が独占禁止法違反容疑で同社日本法人に立ち入り検査に入ったという。今後の行方が注目される▼民宿、ペンション、ユースホステル、そしてホームステイのようにホストとの交流が持てる宿泊施設と、鍵と暗証番号を郵便受けで受け取るだけでオーナーと接触しない大部分の民泊とは、"おもて・な・し"に大きな違いがある。民泊は「海外の普通の暮らしを体験し、文化に触れるという」本来の民泊の姿からは遠いのではないのか。(北村)

NPO法人

116

JAPAN NOW
Non-Profit Organization JAPAN NOW Tourism Information Association.

人と都市・観光の地球時代を市民が支える
観光情報協会

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月間情報誌

第116号 発行日 2017年11月30日

Contents

- ・名古屋で観光立国フォーラム開催される・・・1
- ・訪日外客数1～10月 前年同期比18.3%増・・・1
- ・「観光立国フォーラム」名古屋で開催・・・2
- ・「観光立国フォーラム」/火山島の済州島・・・3
- ・観光列車を見る⑥/ソツとする深夜の・・・4
- ・福井県の魅力/川崎イメージ・・・5
- ・アメリカこぼれ話52/「ロシア革命」100年の・・・6
- ・関西最良⑤/観光立国セミナー・・・7
- ・気象と天気の話/編集後記・・・8



【牧岡神社注連縄掛神事】写真：東大阪市HPより引用 <http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000014508.html>

新年に向けて新しい注連縄(しめなわ)を掛け替えた後、宮司の「アツハツハツ」の音頭に続いて参拝者一同揃って「アツハツハツ」と20分間大笑いする、全国でも珍しい神事。東大阪市無形民俗文化財の「牧岡神社 注連縄掛(しめかけ)神事」。別名を「お笑い神事」という。今年は12月23日予定。日時要確認。

名古屋で「観光立国フォーラム」開催される!

インバウンドの「現状」と「地域」と「今後」



10月15日(日)名古屋駅前、愛知県産業労働センター「ウイंक あいち」においてNPO法人「JAPAN NOW観光情報協会」と(公社)「日本観光振興協会中部支部」「総合観光学会」の3団体による観光立国フォーラムを開催した。

フォーラムはJR東海相談役で当協会副理事長 須田寛氏の進行の下、愛知、岐阜を中心とした観光関係者の熱気に包まれた中で進んだ。会は、総合観光学会会長(帝京平成大学教授、東京大学名誉教授)山下晋司氏の開会挨拶のあと、石澤龍彦国土交通省中部運輸局長による「昇龍道の現状と今後の取り組み」、筑波学院大学学長・教授で当協会理事長大島慎子氏の「良質なインバウンド観光を提供するには」、総合観光学会理事で立教大学教授 東 徹氏「『観光立国』の意義を問う - 日本は『観光立国』になれるか -」と題した講演が行なわれた。

講演に続いて、コーディネーターに小澤 健市 総合観光学会副会長(帝京大学教授)、パネリストに北村 嵩 本協会理事、赤崎真紀子(株)カーネルコンセプト執行役員コンテンツ企画室長、川村 梯式(株)三晃社 代表取締役会長、矢嶋敏朗 総合観光学会理事(一社)日本旅行業協会広報室長の各氏を迎え、「インバウンド観光の今後」について、活発なパネルディスカッションが行なわれた。

訪日外客数1～10月で2,379万2千人 前年同期比 18.3%増!

今年1年間では2,800万人に達する見通し!

田村明比古観光庁長官は11月15日、2017年1～10月に日本を訪れた外国人旅行者は、前年同期比18.3%増の推計2,379万2千人で、年間総数は2,800万人に達するだろうとの見通しを発表した。過去最高だった昨年の2,404万人を11月4日時点で突破している。

韓国や台湾などと日本各都市を結ぶLCC(格安航空会社)の増便や、中国やロシアのビザ(入国査証)の発給要件緩和が入国数の伸びを押し上げた。

特に中国、韓国、台湾、香港の東アジア4か国からの入国者数が昨年より更に増加しており、4か国合計で訪日客全体のほぼ4分の3を占めている。

国別、地域別では中国が対前年12.9%増の622万4千人で最多であるが、韓国は伸び率が40.0%増の583万9千人で中国に迫る勢いである。その他では台湾が8.2%増で、ロシアがビザ発給要件緩和の効果で40.2%と大きく伸びた。

10月単月では、前年同期比21.5%増の259万5千人で、昨年10月の213万6千人を46万人近く上回って、10月として過去最高であった。東アジア市場においては、昨年9月にあった祝日が10月に動き、例年より長い連休になったことで訪日需要が高まった。

「JN 観光協会が観光講師を派遣!!」

観光知識、インバウンド対策、観光ノウハウ、おもてなしサービス他、地域観光のレベルアップにご活用下さい!

名古屋にて観光立国フォーラム開催される 「インバウンドの現状と「地域」を語る」

平成29年10月15日 14:30 開催
愛知県産業労働センター ウィンクあいち

「昇龍道の現状と今後の取組み」 国土交通省中部運輸局長 石澤 龍彦 氏



「昇龍道プロジェクト」より一層の推進
訪日外国人受入れ環境の整備推進と
日本版DOMを各地で形成確立を

去年、訪日外国人旅行者は対前年比21.8%増2,400万人を超えた。訪日外国人延べ宿泊者数は全国平均5.8%増、昇龍道9県は3%増に留まる。去年アジア地域の個人旅行が全体の74%に急伸し、中国とベトナムが団体と個人の旅行割合が逆転した。中部地方宿泊者は50%が中国からの訪客です。

昇龍道地域への訪日外国人来訪は四月が突出、年間を通した平準化が課題。訪日旅行者個人旅行化のニーズに沿った二次交通の充実が重要となる。最近の外国人宿泊者数の伸び悩みに対し、中国以外の新規マーケット開拓と中国人個人旅行者の取り込みを行なっている。中国以外の新規マーケット開拓では、欧米でのプロモーションと昇龍道の知名度向上で欧米からの誘客促進する。昇龍道^{※1}とも緊密に連携し取り組みたい。

個人旅行者を確実に取り込む広域周遊観光促進に、観光資源発掘の更なる磨き上げ、テーマ・ストーリー性を持つ魅力ある観光地をネットワーク化、昇龍道訪問時・滞在時の受付向上に観光地や宿泊施設・交通機関等における多言語表記、Wi-Fi整備、トイレの様式化^{※2}等の受入れ環境整備の一層な推進が必要。日本版DMO育成で、地域一体の魅力的な観光地づくり、戦略に基づく一元的な情報発信やプロモーションの実施も必要となる。

※1. デスティネーションキャンペーン

※2. デスティネーション・マネジメント・オーガニゼーション

「『観光立国』の意義を問う 日本は『観光立国』になれるか」 総合観光学会理事、立教大学教授 東 徹 氏

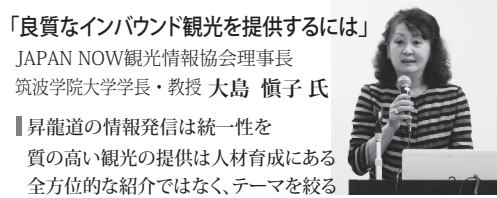


量的、質的に目標達成に近づけるか
量的限界を知って、質を追う時代。
来るときはゲスト、帰るときはファンに

1967年、国連は世界観光年を宣言し「観光は平和へのパスポート」つまり国際平和の下、人と人は交流することにある。総合理解することにあると理念を掲げた。50年を過ぎて、今の時代にこそふさわしい標語だったと痛感している。

2015年、日本国内での旅行消費額は25.5兆円。GDPの大体4.9%、雇用の6.7%を創出していると言われている。世界的にはGDPの10%とも。政府は2020年に4000万人のインバウンド目標を掲げた。消費額は8兆円。アナリストたちに言わせると人口減のGDP減を補うには観光客を増やせばいいと言う。しかし、オリンピックの、その先はどうなるのだろうか。

「良質なインバウンド観光を提供するには」 JAPAN NOW観光情報協会理事長 筑波学院大学学長・教授 大島 慎子 氏



「昇龍道の情報発信は統一性を
質の高い観光の提供は人材育成にある
全方位的な紹介ではなく、テーマを絞る

ドイツのロマンチック街道は第二次世界大戦後の駐留米国人がその景観や遺産に感動している姿を見たドイツ人が、観光資源として宣伝活動を開始した。1981年からは、遠い所から来る人ほど長く滞在することから、日本や米国に大々的な宣伝活動を行なった。日本の観光はどの季節でも観光できるが、一番は?という点も難しい。昇龍道の紹介は全方位ではなくテーマを絞るとよいでしょう。イタリアのベニス^{プロモーション}はリド以外は公共交通機関が無く、全くバリアフリーではない。しかし、高い文化があるから常に観光客を呼んでいる。観光客を動かすのは好奇心と「何かの目的」、これが大事です。昇龍道の情報発信をするWebサイトは多いが、読み手の立場に立ったサイトが少ない。例えば、英語を正確に直訳しているがそれでいいのか。英語では形容詞を付けないと意味が伝わらない。それに、文字ばかり。「浮世絵」の説明なら画像を加えれば読み手は容易に理解できる。誤情報も多く錯綜している。情報を統一するものが要。

個人的にはLCCで多くの人が訪れても観光の質は上がらないと思っている。5千円で来る人が5万円の旅館には泊まらない。LCCで観光客を増やすことと高品質な観光をやることは別の話。質の高い観光の提供は、人材育成にあるので、人材育成をぜひやっていただきたい。

心配は観光産業。地域経済をインバウンドによって支えるとき、観光の消費額を吸収する産業の足腰が弱くて、望むような経済効果が生まれるのか。今の若者に、働く魅力のある産業なのか問題。訪日外国人の消費額を増やすために、はたしていつまでも買い物に依存できるのか。リピーター比率が上がる、消費額が落ちていく。次は宿泊中心に日本で滞在日数を伸ばしてほしい、日本に宿泊や飲食で消費してもらうように舵を切るべきという指摘がある。インバウンドの現状は、中国・韓国・台湾・香港の4カ国で73%弱。人口ボーナス論で言うところの4カ国はそろそろ伸び代が無くなり失速する可能性が高い。覚悟はしておくべき。人材も問題で労働力もだが観光産業を支える質も重要である。他にエアラインの供給数も課題。ここも人材不足を起因とする課題がある。2020年に4000万人、2030年に6000万人の訪日客目標。果たしてそうなるのか。

量的な拡大から質的な高いインバウンドを目指す方向へ転換が必要ではないか。「来るときはゲスト、帰るときはファン」を生み出す質の高いインバウンドを実現できるよう我々も頑張らなくてはならない。

関西最頂 ⑤ ―虎ファンは苦勞人―

元日本航空副社長 横山 善太

あの頃は皆、草野球が好きでした。

終戦直前の昭和20年7月、疎開先の大阪浜寺で空襲により焼け出され、奈良・吉野辺りの山中に再疎開、山道沿いの茶屋で玉音放送を聴きました。明るる年に東京に戻った私は、小学2年生の春にはすっかり野球少年になっていました。焼夷弾の煙る焼跡の空き地に集まった草野球少年、青空に白球、「りんごの唄」の頃でした。空襲到来のラジオ放送に緊張していた軍国少年が僅か半年余でどうして草野球少年になっていたのか分かりません。この時代は全てにそうであったでしょう。大人の変わり身の早さが伝わったものです。これからの時代は民主主義?アメリカさんや家庭は保守的でも商売はビジネス変わり身の速さは関西でした。煙草が活躍したのです。「今日も元氣だ煙草が旨い」「いいい」の宣伝は従って産業労働者は励まされたものです。

再開したプロ野球(当時は職業野球と云ってましたが)で核弾頭2人(一番センター呉昌征・台湾 嘉義農林中出身、2番レフト金田正泰・平安中出身)が左打者だった阪神タイガースのファンになったのが事の始まりです。爾来五十数年、お陰で苦労させられました。

確かに昔は強い阪神だったのです。昭和22年、物干し竿バットの藤村富美男、強打の捕手・土井垣などを中心としたダイナマイト阪神タイガース以来、優勝回数(昭和22年、37年、39年、60年)は少なけれど巨人の9連覇時代も2位、または3位で巨人を脅かす存在だったのです。どうしてそれがこんなにならずに仕舞ったのかと思うこともあったのですが、つまり21年



第136回 観光立国セミナー	10月13日 海事センター
「昔の函根・今の箱根・コレカラのHAKONE」 (一社)日本ホテル・レストランサービス技能協会会長・元藤田観光会長 森本 昌憲 氏	

森本さんは昭和44年に藤田観光に入社され、小涌園勤務を始め、長年の箱根との関わりを経験をもとに、箱根の歴史を道路と温泉で観ながら紹介された。鎌倉時代の新外輪山の峰を通る鎌倉古道から、江戸時代には畑宿を経る箱根旧街道に代わり、明治に入ると福沢諭吉の提案で、外貨獲得の為、今の国道1号線が整備された。温泉は湯本、塔ノ沢、宮ノ下、堂ヶ島、底倉、木賀、芦之湯の箱根七湯から、八湯、十七湯と広がり現在は箱根二十湯となっている。

観光地箱根を決定的に変えたものは、昭和24～43年の交通機関の開発競争での箱根山戦争と、昭和58年に開業した東京ディズニーランド、そして昭和62年から開始された「箱根駅伝」のテレビでの実況中継である。これからの箱根そして日本の観光地に共通の課題は、観光振興と地域振興の連動をいかに進めるか、国際化への対応、受入れ体制の整備などで、観光振興の4条件「自然、文化、気候、食」の内、食の魅力を高め、地域全体の観光関連産業のみならず住民すべてが「テーマパーク箱根」を活性化させることが必要である。

振りだの18年振りだのと云うことになるから事態が大変なものです。それで更に私が思うのは…。昔は「武士の情け」の心情を持ち合わせた人格者が多かった。プロ野球界でもそうだった。従って阪神タイガースは何しろ阪神・巨人戦の、つまりプロ野球界の雄(単なる虎ではないのです!)なのですから他チームの代表も(人格者でしたので)Aクラスに止めておいて呉れたわけです。ところが最近の競争社会のリーダーたちはこの吾が伝統ある阪神タイガースを遠慮容赦なく最下位に追いやることになったのでは?と思うのであります。

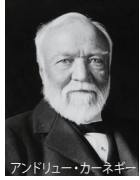
昭和60年の日本シリーズ、阪神3勝2敗で迎えた西武球場での第6戦、西武の先発は予想(と云うより予定)されていた東尾ではなく高橋直樹投手でした。日本シリーズではリードしている側にプレッシャーがかかる第6戦、横手投げの高橋先発のお陰で、左打者中心の阪神主軸の痛打、そして止めはベテラン左打者長崎の満塁ホームランで日本一になったのです。何故先発が東尾ではなかったのか、私はずっと思っていました。

それから10年後ぐらい、勤務地が大阪でしたので、その当時監督だった吉田義男さんと親しくさせて頂いたのですが、驚いたことに吉田元監督も私と同じ疑問を持ち続けていたのです。そこで吉田元監督が最近知るところとなったエピソードを聴かされた際に私なりに消化して得た結論は広岡元監督の「武士の情け」に辿り着いたのです。広岡さんの名誉のために付言すればこのストーリーはサスペンスでも何でもなく、ましてや監督としての今風なコンプライアンス違反ではありません。「武士の情け」とは公言すべきものではなく胸のうちの事なのですから。

武士の情けとは? この話しは年明け新酒を飲みながらと致しましょう。

第137回 観光立国セミナー	11月10日 海事センター
「なぜ東日本大震災で2万人の犠牲者がでたのか」 一 関東大震災から始まる防災報道90年から解き明かすー NHK インターナショナル 専門委員 田阪 友隆 氏	

田阪さんは昭和49年にNHKに入局され、国内各地の放送局勤務を経て上海支局長、福岡放送局で映像取材、映像編集の九州・沖縄統括などを歴任し、NHK インターナショナル専務理事を務められた。冒頭に日本列島は各プレートが接する大地の交差点であり、シベリア、オホーツク、長江、熱帯、小笠原などの気団に囲まれた大気の交差点でもあると紹介された。NHKは関東大震災の2年後にラジオ放送を開始、その歴史は防災報道の歴史である。伊勢湾台風や各地での集中豪雨の被害、阪神淡路、新潟中越、そして東日本大震災などの地震災害、雲仙普賢岳の大火砕落などの火山被害、御巣鷹山での日航機墜落などの航空機墜落事故、ホテルニュージャパンでの火災、地下鉄サリン事件などを映像で紹介しながら、大災害のたびに放送技術の進化する過程を解説された。東日本大震災では地震発生後の3分後に大津波警報が発表され、津波の第1波が到着するまでに30分近くあったのに死者・行方不明者は18,500人近くになった。放送の情報伝達に問題はなかったのだろうかという疑問が起こった。緊急事態の感覚で切迫感を持ったアナウンスが必要であったし、被害地域に特化した放送、コミュニティー放送局が求められていた。今後の災害報道に活かしてゆきたい。



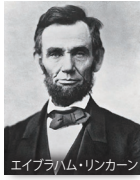
アンドリュー・カーネギー

元 JTB 取締役 北村 嵩

「鉄鋼王カーネギー」は 19 世紀後半のアメリカンヒーローの一人である。勤勉な貧しい移民から出発し、大実業家で大富豪になったことで有名である。引退後はカーネギー財団を設立して財産の社会還元をし、ニューヨークにカーネギーホールという音楽の殿堂を設立したことで知られている。しかし、そのカーネギーが、南北戦争当時、リンカーン大統領のもとで電信技士として働いていたということは、余り知られていない。

スコットランドからの貧しい移民の息子だったアンドリュー・カーネギーは、家計を助けるために 15 歳から電報配達夫として働き始めた。電信士としての仕事を見真似て覚えた。モールス信号が実用化され、ウェスタン・ユニオン電信会社が設立されたのは 1856 年である。この新しい情報伝達技術を、早速採用したのが鉄道会社であった。抜群のやり手だったアンドリューは、ペンシルヴァニア鉄道のトマス・スコットに認められ、ピッツバーグ地区の鉄道管理を任されていた。1861 年 4 月、着任したばかりのリンカーン大統領から戦争長官に任命されたサイモン・キャメロンは、旧知のスコット副社長に電信と鉄道の確保を要請し、彼を戦争省次官補に任命した。スコットは着任するにあたり、当時 26 歳だったアンドリューを同行してホワイトハウスに入り、すぐ隣に戦争電信室を開設した。軍事情報は最高機密事項であり、電信士は戦争長官の直属である。その電信情報は、機密保持のため戦争長官及びその上司である大統領のみが知ることが出来た。

当時の軍隊では電信の重要性については充分認識されておらず、早馬による伝令が中心であった。昼間は信号旗、夜はたいまつに頼っており、スピードと情報量にはおのずと限界があった。リンカーンはこの最新技術、電信の重要性にいち早く着目し、頻繁に電信室に顔を出した。情報を収集すると共に、前線司令部の将軍たちと連絡を取り合い、優柔不断は将軍たちに決断を求めた。時には叱責や皮肉を発信しながら、戦争の指揮をとった。たまには電信室で、カーネギーや若い電信士に冗談を言って笑わせたり、ねぎらったりもしていた。



エイブラハム・リンカーン

1861 年 7 月、最初の本格的戦争であったブルランの戦いの際には、アンドリューは自ら電信確保に従事し、この年の 11 月にワシントンに去った。この戦争中に、アンドリューは鉄鋼業こそ将来産業の中心になると判断し、積極的に投資をしていった。最新技術を導入した製鉄工場を設立、同業者を次々に吸収合併して鉄鋼王への道を歩んで行ったのである。アンドリューは熱烈なリンカーン支持者であり、熱心な奴隷制度廃止論者でもあった。後にリンカーンのことを回想して、「誰にでも親切で優しく思いやりのある素晴らしい人であった」と述べている。

「ロシア革命」100年の悪夢



小田急電鉄(株)特別社友 利光 國夫

今年は 1917 年に起こったロシア革命から 100 年目にあたる。ロシア革命の始まりについては広義には 1905 年のいわゆる「血の日曜日事件」からとする説もあるが、一般的には 1917 年の 2 月革命と 10 月革命(現在のグレゴリオ暦では 3 月と 11 月)が「ロシア革命」と定義されている。この革命は 20 世紀から今日までの世界に最大の影響を与えている出来事といえるだろう。



ロシア革命

第二次世界大戦とその後の東西冷戦時代、更には現在の中国の覇権拡大主義、北朝鮮の狂信的独裁体制と核兵器開発への異常な執着による世界的危機も、元をただせばロシア革命でボルシェビキが勝利したことに端を発している。



ボルシェビキの党員集会

ヒトラーとナチスによる悪夢は今も記憶に新しいが、あの強制収容所もゲシュタポの暴虐もレーニン、スターリンと続いたボルシェビキ政権が先立って行ったものである。秘密警察チェーカーが裁判も如何なる法にも基づかない殺戮によって権力を支え、権力者にとって好ましくない人々を強制収容所に放り込んでいった事実はその後の全ての独裁者の手本となった。

ナロードニキ、メンシェビキなど多くのロシア革命運動家の努力は 2 月革命の臨時政府の成立によって結実したかにみえたが、社会革命党のケレンスキーなど社会主義者のほか立憲民主党などの自由主義者中心のこの政府は基盤が不安定で、結局は 10 月革命を経てボルシェビキ独裁体制となってしまったのだ。

先の衆議院選で図らずも立憲民主党なるものが我が国に登場したが、彼らの中のどれだけの人がこの歴史を知っているのだろうか。

観光立国フォーラム:「インバウンド観光の今後」

パネルディスカッション

コーディネーター
小沢 健市 氏
総合観光学会副会長/帝京大学教授



北村氏 赤崎氏 小沢氏 川村氏 矢嶋氏

(1 時間を越えたディスカッションの一部を要約して掲載いたします: 敬称略)

小沢: 今日、お招きしております 4 人の先生方のご発言から、「もう少し観光についてしっかり日本は地に足をつけたような考え方をしなかないとダメなんじゃないかな」というのが僕の意見ですが・・・

北村: ...今年の 9 月 15 日に今年度の訪日客が 2000 万人に。消費は、いわゆる物品の購入が減っていて、伸ばすべきは体験消費。「欧米の国に比べ、日本が無いもの」それはナイトエンターテインメント。夕ご飯を食べた後にするアクティビティで、お金を使ってもら分野が日本では全く欠けている。...目標達成に必要なのはリピート客。日本に初めて団体旅行で来てファンになり、次は個人旅行で日本に戻ってきてもらう。こういう人を、いかに増やしていくか。そして観光客に地方へ行って頂くことも重要。そして消費。欧米人は滞在が長く消費額も多いが今は入国比率が低い...地方の町の小さな食堂やお土産屋さんでクレジットカードが使えない所が沢山ある。地方のインバウ

パネリスト
北村 嵩 氏
NPO 法人 JAPAN NOW 観光情報協会理事
川村 梯次 氏
㈱三晃社/代表取締役会長

矢嶋 敏朗 氏
総合観光学会理事(一社)日本旅行業協会広報室長
赤崎 真紀子 氏
㈱カーネギーホテル 執行役員コンテンツ企画室長

火山島の濟州島ブレスツアーに参加して

観光学博士 寺前 秀一

濟州島は、歴史的にも政治的にも沖縄と比較される。人口は沖縄 140 万人に対して 60 万、島外旅行者数 860 万人に対して 1300 万人と観光の経済に占める割合も効果も沖縄をはるかにしのいでいる。一人当たり GDP も沖縄が 280 万円に対して 31000 ドルであるから、濟州島の人のほうが沖縄や九州を上回っている。その濟州島が、中国政府の米国・韓国防衛政策に対する反発から大きな影響を受けている。2016 年、韓国全体で中国本土客の割合が 45% を上回っていたから、濟州島も国内観光客の比率があるとはいえ、大きな影響を受けたのである。

日本から濟州島への行きかたはいろいろあるが、東京・チェジュ間は料金も国内航空運賃より安いくらいで、時間も 2 時間と、九州と同じである。ビザも不要であり、クレジットカードを使用すれば両替も不要である。WIFI も使用できる所が多く、タクシーも日本語を話す運転手がい、料金も安い。海外旅行として考えるより、国内旅行の延長として考えればいい。訪問先は、世界遺産のソンサンイルジルボン(城山日出峰、写真 1)とハルラサン(写真 2)であった。Hidden Cliff Hotel に宿泊し、ナンブンバブサン(JEJU 料理レストラン)で創作料理をいただいた。ソンサンイルジルボンの火口は草が生えており、上から見ると美しい。赤いウルルは横の姿しか報道されないが、こちらはむしろ上からの緑色の姿が多く報道されている。私は幸運にも飛行機から眺めることができた。観光客は朝日ののぼる瞬間を目当てに来るようである。日の出の時刻がしっかりと刻まれていた。ハルラサンは 2000 メータ弱の韓国一高い山である。韓国人は登山

ンドは、地味だが着実にクレジットカードの問題や多言語化、路線バスの記号化などを、進めることが大事だと思います。

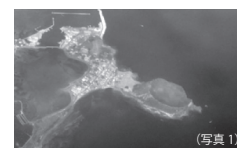
赤崎: ...一昨年、ミラノ万博で手巻き寿司ワークショップ in ミラノをやった。みりんの味見、梅酒の試飲、手巻き寿司のマッチング、そういうものにすごく反応する。個人的には、欧州北米から沢山のいいお客さまに来てほしい。この地域の特徴で「モノ」作ったら潤うから、わざわざ観光客の人によそから来てもらわなくてええだわ」とおっしゃる方が結構多い。でもマインドを一つにすれば、インバウンドで成功していい道がいっぱいあるのではないかな。キーワードは異越同舟...そして情報発信することが大事と思っている。

川村: ...名古屋は「物を作って、いいものさあれば、それが輸出される。そして、その結果、輸出によって日本は成り立っている」という思いが非常に強いので、どうしても観光については、そこまでやる必要はないんじゃないかなという風習があると思う。産業観光は名古屋は日本一。名古屋おもてなし武将隊もある。忍者も世界で通用する...これから体験による消費がどんどん出てくれば、中部地区の未来は非常に明るいものであろうと思っている。矢嶋: ...今、旅行会社が向かっている問題は、お客さまがリピーター化していること。それぞれ個人旅行で動いている。リピートで旅行の質も変わった。旅行の手配方法も約 7 割が F IT、個人手配。団体を得意とする従来型の旅行会社は対応を求められている。2WAY ツーリズムを提唱している。観光は、お互いに行き来してそれぞれの良さ悪さを見る。今は、あまりにも、1 WAY ツーリズムになりすぎていて、日本は経済性だけを求めている...

【ディスカッションの後半は Web サイト <http://www.japannow.org/> でご覧ください】

が好きであるが、意外と高山が少なく、この濟州島の登山を楽しむにしているようである。今回は山頂まではゆかず、1500 メータ地点まで物資運搬用のモノレールで運んでもらう。

ハルラサンでは、昔は馬を放牧していたので、笹が繁茂しなかったようだが、今では馬が少なくなっている。そこで笹を原料にしたお茶を開発しているとか。鹿も繁殖している。生態系の保存はどこでも難しいのである。峰の姿から五百人将軍と名付けられた稜線を左手に見ながら下山する。シドニーのスリーシスターズを思い出し、皆同じ発想をするものだと感心した。金昌潮世界遺産本部長という話ができた。沖縄には古い施設が再現されて存在するが、濟州島は記録が残っておらず残念だという。私は、伝統はいつでも後から作れると申し上げ、観光資源としては、ほんのちょっと関係があればそれで構わないのだと申し上げた。金沢の武家屋敷など全部明治の初めに全部サムライが野菜畑にしたが、後で観光用に橋立から豪商の屋敷を半分きりとして移築したのである。観光資源であるから、今から耽羅の諸建築物を想像で再現すればいいのである。世界遺産の話になり、入域料を取りたいような話をされた。私は



(写真 1)



(写真 2)

ガラパゴスでも 1 万円の入域料を取っていると申し上げておいた。むしろ世界遺産条約の趣旨にかなうのである。また、豪州のウルルは赤い岩山だが、ソンサンイルジルボン(黒山)は黒山だから、赤と黒で対比させて世界に売り込んでほしいと申し上げた。姉妹岩山である。

“観光列車”をみる⑥

JR東海相談役 須田 寛

鉄道と観光とのかかわり

- ① 鉄道は観光地へのアクセス手段
- ② 鉄道は観光への付加価値を高める
- ③ 鉄道への乗車それ自体が観光対象(資源)

このようなかかわりをもつなかで主に③の役割を果たす観光列車を中心に各鉄道会社が相次いで観光列車を運行しはじめ現在100種をこえるに至った。なお続々と新企画の列車が生まれつつある。今回はこのなかで「列車に乗った時から観光地」気分を演出するいわば観光のオードブルともいえるような運行地域の名物にこだわった観光列車を紹介してみたい。

(1) “花嫁のれん” (JR 西日本七尾線 金沢―和倉温泉間)

北陸新幹線開通を機に平成27年10月に運行を開始した。気動車2両編成の全席指定制の特急列車である。“花嫁のれん”という列車名は石川県地方で結婚式の日、花嫁が嫁ぎ先で嫁入り道具ののれんをくぐって仏間に入るとい慣行に因んだものである。



「花嫁のれん」

名前のようにこの列車は内外装、車内サービスのすべてが石川県の加賀能登特産物一つまり加賀能登文化にこだわっていることが特色だ。地域で盛んな華道を基調にした内外装、特産の輪島塗、加賀友禅、金箔細工等の工芸品をふんだんに導入している。

車内サービスについても地元の高級旅館から提供される料理が評判である。これも徹底して加賀能登特産の食材を

ふんだんにとり入れた加賀能登料理であることはいうまでもない。又車内でもてなしも地元旅館の客室係が出張してあたるという徹底ぶりだ。

この列車は金土日曜を中心に金沢、和倉温泉間2往復の運行で食事については事前予約が必要である。



地図: google map

(2) “フルーティアふくしま” (JR 東日本 郡山―会津若松間) 福島県は全国屈指の果物の産地といわれるこの福島特産の果物にこだわった列車がその名も“フルーティアふくしま”だ。

フルーティアとは「果物」(フルーツ)とこの列車の今ひとつのコンセプトでもある「茶」(ティー)を組合わせた造語である。

2両編成の電車で郡山、会津若松間週末を中心に2往復の運行で全席指定の快速列車である。



「フルーティアふくしま」

車内サービスは勿論福島県特産果物を用いたスイーツと飲み物が中心で特に特産の桃を使ったものが好評だという。又名産と共にこれも福島特産ともいべき沿線の景観を楽しむこともこの列車の売りで広い車窓、テーブルに斜めに配された座席やカウンター席等も果物を味わい乍ら沿線の景観が味わえるよう工夫したものである。



地図: google map

なおこの列車の利用に際しては、フルーツ、スイーツ等車内サービスと運賃料金をセットした企画ツアー商品を旅行会社等で購入する必要がある。

写真提供: 交通新聞社

COLUMN ゾツとする深夜のトンネル

半世紀余も昔、小泉八雲の描く怪談の世界にはめられてしまった。鉄道会社へ就職し、見習い駅員として24時間2交替制の「隔勤勤務」という、あまり耳慣れない言葉の勤務体制の下に、駅員たった2人の小さな駅で汗を流していたころの怖〜い本当の話である。

ある晩のこと最終電車を送り出して1日の業務を終え、早番勤務のため先輩に失礼して先に床に就いた。突然今発ったばかりの最終電車の車掌が戻って来てガラス戸をドンドンと激しく叩いた。先輩に叩き起こされ車掌に付いて現場へ急行するよう命じられた。車掌によるとこの先のトンネル内で着物姿の女性が電車へ飛び込んだという。月明かりの下を線路に沿ってトンネル内の現場に着くと、そこには血痕が飛び散った電車が停まっていた。

真っ暗闇の足元を電燈で照らすと何と人間の片足が転がっているではないか。着物にくるまった塊や手もあった。入れ歯まで落ちていた。老婆の身体がバラバラに飛び散って、まともに目を向けられない惨状だった。運転士の話では、トンネルに入るや暗闇の中を

突然立ちちはだかった老婆にそのままぶつかってしまったという。この後現場を通過する工事用車両が死体に接触するのを避けるため、目を背けながら死体の肉片を手を持って線路脇に並べた。檢視のため警察がやって来るまで、死体をこのまま見張るよう言われ、夜のじまの中で老婆のバラバラになった死体をひとりで監視する、恐ろしい役回りを仰せつかった。他線の最終電車との接続の関係上、電車はまもなく現場を離れて行った。

長い間懐中電灯で照らしながらじっと老婆の裸死体を監視していたが、その死体の監視以上に耐え難かったのが、真夜中のトンネル内でたったひとり仏様と過ごす静寂な時間だった。電車が立ち去った後の真っ暗闇のトンネルは不気味なものだった。水滴が一滴落ちる度にトンネル内には「シーン」と薄気味悪いエコーが響き渡り、思わずドキッとした。勤務が明けてもその日は食事も喉を通らなかった。肝試しのような体験をさせられた新人研修を恨めしく思ったものだったが、今では懐かしく思い出されてくるから不思議である。

エッセイスト 近藤 節夫

福井県の魅力 幻の都と一大宗教都市の間に

料理茶屋 寿楽山 女将 塗茂 ひろ美

ご存知だろうか、かつて福井県には京をも凌ぐ壮麗な都があり、同じ頃、程近くに、六千坊を有する一大宗教都市があったことを。時は応仁の乱(1467)戦火を逃れて、貴族や高僧達が金銀財宝を携え、京の文化とともにこの地にやって来た。頼った先は戦国大名・朝倉氏である。朝倉氏は五代百年にわたりこの地で栄えたが、信長に焼き滅ばされ、この世から姿を消してしまった。まさに幻の都である。平泉寺も程なく焼き討ちに合いその後は土に埋もれてしまった。



平泉寺白山神社

谷合を流れる一乗谷川を挟んで平地がある。上流に上城戸、下流に下城戸と巨石を組み上げたゲートに守られ、まるで桃源郷のような世界があったという。城戸の内には一万から二万の人々が茶の湯をたしなみゆたかに暮らしていた。

最近発掘調査が進み新たにわかった事がある。城戸の外にも繁栄を支える集落があり、大そうな賑わいをみせていたらしい。足羽川に合流する一乗谷川の川湊の遺構が発掘されて、流通拠点があったことがわかった。三国から海の幸。近隣から和紙や絹、米や笏谷石等々も川舟で易々と運べたことだろう。

現在この辺り一帯は国の特別史跡となっており、春は広大なエリアが桜の園になる。ここから内陸に車で15分程走る



と、大野市がある。近頃天空の城で一躍脚光を浴びた城下町である。戦国時代は朝倉の領地であったが、朝倉が滅ぶと、信長の家臣・金森長近により築城され暮盤の目のような城下町が建設された。

一乗谷



大野城
天正3年(1575)築城。
石垣は野面積み工法。貴重な史跡として、現在の城は、昭和43年に再建

大野市とは、幻の都と一大宗教都市 この二つの国特別史跡のちょうど中間地点に位置しており、海の幸と山の幸にめぐまれ、白山の伏流水(名水百選)が飲める静かな城下町である。

NEW SPOT in Japan65

川崎イメージ

150万人都市・川崎市にスポーツと文化の殿堂「カルッツかわさき」が10月開館した。スポーツエリアにバスケット、バレー、テニスといった大小体育館と弓道場、柔剣道場など、文化エリアに2千人収容の演劇・音楽ホールが並ぶ複合施設で、愛称のカルッツはカルチャーとスポーツを合わせて「心弾む軽やかな響きに」をイメージするという。命名に1千点ほど応募がありWEB投票1位になった市内中学1年生の作品に決まった。優秀作に2つの登竜門を意味する「ツインゲートかわさき」など3点が選ばれた。

川崎市は東京と横浜に挟まれた東西に細長い市域を京王、小田急、田園都市、東横、JR新幹線・横須賀・東海道・京浜東北、京急の鉄道が横断し、串刺しのようにJR南武線が走る。市内はおおよそ工業地帯、繁華街、住宅地に色分けされ、市が12年前公表した調査だと公害、風俗、キャンブルという負のイメージが上位を占め「文化の街」の印象は低かった。そこで「マイナスイメージを払拭し、新たに良好なイメージを形成する」と訴え、市の魅力に産業(研究開発・先端技術)、芸術・文化(音楽、映像)、スポーツ(サッカーなど)、自然(多摩川、多摩丘陵)の4つを挙げた。2015年「シティ戦略プラン」は魅力に生活(交通



川崎市に華々しく誕生したカルッツのホール

利便と暮らしやすさ)を加え5つにする。

芸術・文化の魅力を支えるカルッツ大ホールは柿落とし公演のベッリーニ作曲オペラ「NORMA」で海外トップソリストを招いて華々しく幕を開け喝采を浴びた。レベル高い出し物で東京や横浜の人気ホールに肩を並べ、ファン増加を図る。たとえばホール利用環境の一層の充実、川崎駅 東口周辺の交通アクセス整備など課題も少なくないが、2024年の市制100年へ向け市民が望む「自然残る緑あふれる街」「安心安全で子育てしやすい街」を推進し「公害を克服した川崎」のプラスイメージを前面に、首都圏の中核都市として発展の期待ふくらむ。

(文・写真 林 莊祐)